

## 九州のひずみ速度分布

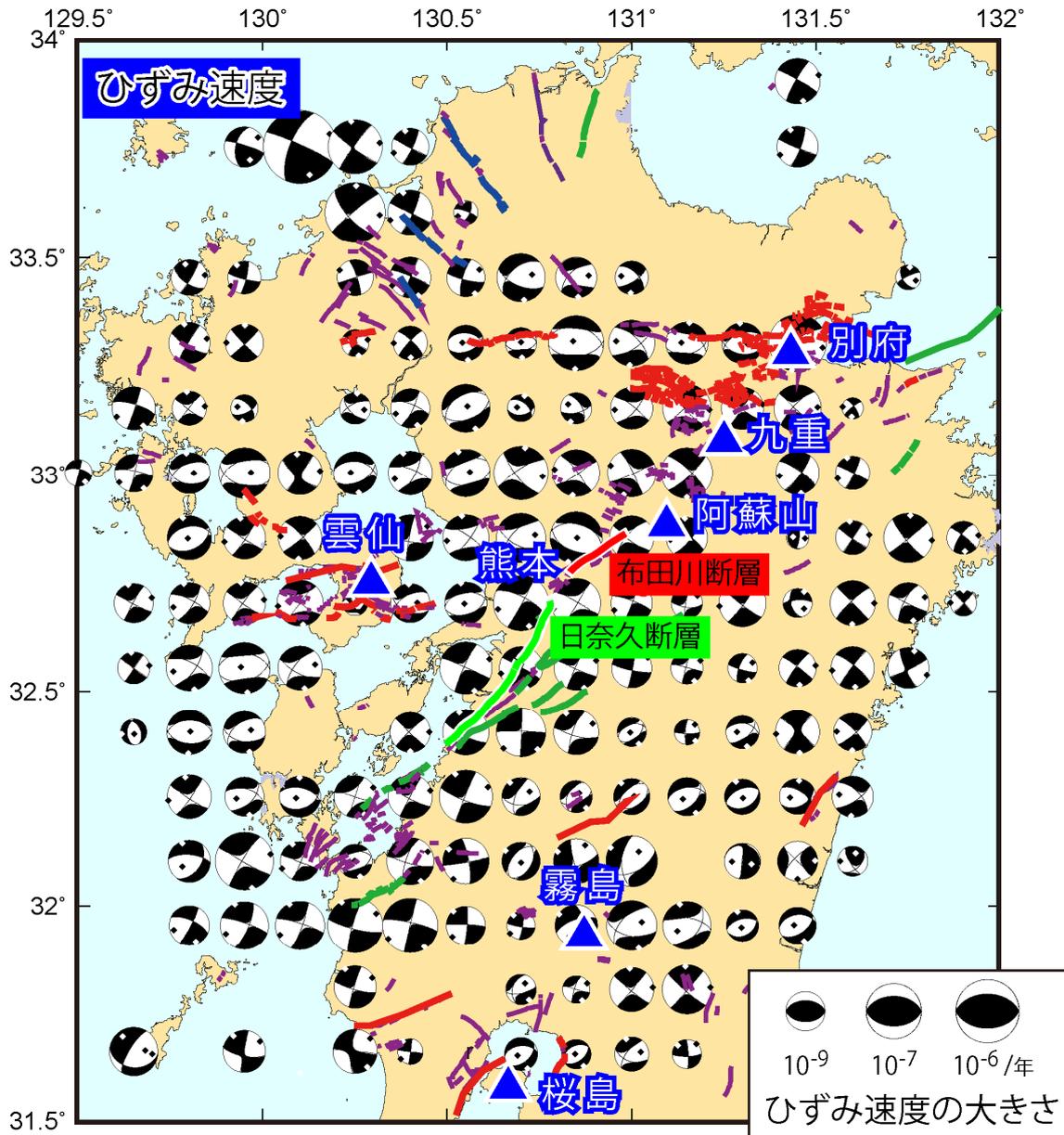


図7 地震活動により推定された九州のひずみ速度分布

熊本から別府にかけての地域では年間  $10^{-7}$  オーダーの大きなひずみが地震活動によって進み、周辺での応力蓄積の可能性が示唆される。特に布田川断層や日奈久断層付近ではその値が大きくなっており、活断層の動きと同じ右横ずれ成分に卓越するひずみ場となっている。1996年1月から2013年7月に観測された深さ30km以浅の地震を解析に使用した。